

指定正味財産の扱い

はじめに

多くの非営利法人では、補助金、助成金、寄付金などを原資に公益活動が行われています。これらの収入のうち用途が指定されていない収益は、法人の判断で使用できますが、用途が指定された収益は、指定されたもの以外には、原則として使用できません。

そのため、公益法人会計基準では、正味財産の部を、**一般正味財産**と**指定正味財産**に分けて会計処理をするようになっています。

NPO 法人会計基準では、指定正味財産の部を設けて会計処理を行う方法と、注記に指定正味財産の内訳を表示する方法が示されていて、会計の事務処理の軽減が考慮されています。

らくらく会計では、何れの方法も選択できますが、下記の説明は、指定正味財産の部を設ける方法について、説明します。

科目マスターの選択

新しくデータテーブルを作成するとき、下図のようなひな形科目の選択画面表示されます。この時に、ひな形科目 1 を選択すると、指定正味財産の部を追加した会計処理ができるようになります。

ひな形科目の選択

ひな形科目 1 (指定正味財産対応)

ひな形科目 2

実行

キャンセル

code	会計の名称	部門区分	入力区分=1
1	〇〇事業	1	1

【部門区分】
上位階層 1
下位階層 2～4

【入力区分】
入力を行う部門のみに1を入れてください。

(設定例)

	部門	入力
A A 事業	2	1
B B 事業	2	1
C C 事業	2	1
事業部門計	1	
管理部門	1	1

貸借対照表の正味財産の部の確認

勘定科目の設定画面で、次のような指定正味財産の部があることを確認してください。

科目コード	科目名	FlgA	FlgB	FlgC	小科目	補助科目	FlgG	FlgH	消費税
30000	Ⅲ 正味財産の部	9	1	1					
30100	1. 指定正味財産	9	1	1					
30110	補助金	0	1	1			901		
30120	助成金	0	1	1			904		
30130	寄付金	0	1	1			908		
30140	指定正味財産合計	3	1	1					
31000	2. 一般正味財産	9	1	1					
31020	前期繰越正味財産	0	1	1			100		
31040	当期正味財産増減額	0	1	1			110		
31060	正味財産合計	3	1	1			140		
31080	負債及び正味財産の部合計	5	1	1					
31100			1	1					

補足

公益法人会計では、この部分は細かく分類されていますが、NPO 法人らしく会計では、補助金、助成金、寄付金に集約しています。必要に応じて、細分することも出来ます。

活動計算書の指定正味財産の部の確認

活動計算書の下部に次のような指定正味財産関係の科目があることを、確認してください。

62000	税引前当期正味財産増減額	8	2	1			114		
62020	法人税・住民税及び事業税	0	2	1					
62040	当期正味財産増減額	8	2	1					
62060	前期繰越正味財産額	0	2	1			112		
62080	次期繰越正味財産	8	2	1			111		
62100			2	1					
70000	指定正味財産増減の部	9	2	1					
70020	指定補助金	0	2	1			901		
70040	指定助成金	0	2	1			904		
70060	指定寄付金	0	2	1			908		
70080	指定正味財産評価損益	0	2	1					
70100	一般正味財産への振替	0	2	1		1	920		
70120			2	1					
70140	当期指定正味財産増減額	4	2	1			134		
70160	指定正味財産期首残高	0	2	1			132		
70180	指定正味財産期末残高	6	2	1			131		
70200			2	1					
70220	次期繰越正味財産額	8	2	1			141		
70240			2						

指定正味財産の受け入れた時の仕訳と確認

車両を購入するように指定された 100 万円の寄付金を受け入れ、車両を購入した。

借方科目コード 内取 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
111060 預金1	1,000,000	70060 指定寄付金	1,000,000
212080 車両運搬具	1,000,000	11060 預金1	1,000,000

この仕訳により貸借対照表は次のように、固定資産と指定正味財産が増加します。

勘定科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
流動資産合計		0
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
車両運搬具	1,000,000	
有形固定資産合計	1,000,000	
(2)無形固定資産		
(3)投資その他の資産		
固定資産合計		1,000,000
資産の部合計		1,000,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債の部合計		0
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
寄付金	1,000,000	
指定正味財産合計		1,000,000
2. 一般正味財産		
前期繰越正味財産		0
当期正味財産増減額		0
正味財産合計		0
負債及び正味財産の部合計		1,000,000

また、活動計算書の指定正味財産の部は次のようになります。

指定寄付金	1,000,000		
当期指定正味財産増減額			1,000,000
指定正味財産期末残高			1,000,000
次期繰越正味財産額			1,000,000

一般正味財産への振替仕訳と確認

指定正味財産で購入した車両の減価償却費を計上した時に、同額の指定正味財産を一般正味財産に振り替える仕訳を行います。この場合、この指定正味財産は寄付金であったので補助科目は「寄付金」を選択します。

借方科目コード 内取 補助科目コード	借方金額 消費税区分	貸方科目コード 補助科目コード	貸方金額 消費税区分
155520 事業/減価償却費	200,000	12080 車両運搬具	200,000
270100 一般正味財産への振替	200,000	51120 受取寄付金	200,000
908 寄付金			

この仕訳により、車両運搬具は、80 万円に、指定正味財産も 80 万円に減少します。

勘定科目	金額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
流動資産合計		0
2. 固定資産		
(1)有形固定資産		
車両運搬具	800,000	
有形固定資産合計	800,000	
(2)無形固定資産		
(3)投資その他の資産		
固定資産合計		800,000
資産の部合計		800,000
II 負債の部		
1. 流動負債		
流動負債合計		0
2. 固定負債		
固定負債合計		0
負債の部合計		0
III 正味財産の部		
1. 指定正味財産		
寄付金	800,000	
指定正味財産合計		800,000
2. 一般正味財産		
前期繰越正味財産		0
当期正味財産増減額		0
正味財産合計		0
負債及び正味財産の部合計		800,000

活動計算書は、指定正味財産から振り替えられた一般正味財産の増加と、減価償却費のによる一般正味財産の減少で、一般正味財産の増減は0円となります。

勘定科目	金額		
I 経常収益			
1.受取会費			
受取会費計			0
2.受取寄付金			
受取寄付金	200,000		
受取寄付金計		200,000	
3.受取助成金等			
受取助成金等計			0
4.事業収益			
事業収益計			0
5.その他収益			
その他収益計			0
経常収益計			200,000
II 経常費用			
事業費			
(1)人件費			
(2)その他の経費			
減価償却費	200,000		
その他の経費計	200,000		
事業費計		200,000	
管理費			
(1)人件費			
(2)その他の経費			
管理費計			0
他会計への繰出金支出計			0
経常費用合計			200,000

指定正味財産は、当年度の減価償却分 20 万円が減少して、貸借対照表の指定正味財産の金額と一致します。

指定正味財産増減の部			
指定寄付金	1,000,000		
一般正味財産への振替	-200,000		
当期指定正味財産増減額			800,000
指定正味財産期末残高			800,000
次期繰越正味財産額			800,000

